

令和4年度 自己評価計画書

石川県立ろう学校

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	実施状況の達成度判断基準	判定基準	備考
1授業実践力の向上	①手話力を高め、聴覚障害教育の専門性の向上を図る。	○研究研修課	令和3年度児童生徒のアンケート結果より中学部や高等部の生徒は手話を使った授業がわかりやすいとの回答が多かった。しかしながら、教員が言語としての手話の知識やスキルについて研修する機会が少ないため、単語や文法について学べる研修講座を定期的に通って手話力を高めていきたい。	【成果指標】 手話講座を月に1回行い、初級コース・中級コースに分かれて受講する。担当する幼児児童生徒とのコミュニケーションを豊かにし、手話力を高めることができた。	手話力が向上したと思う教員が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	CまたはDの場合は、改善策を検討する。	7月及び1月に調査 教職員 (担任、級外、寄宿舎)
	②GIGA構想の取組みを取り入れた研修や教材研究を行い、授業力の向上を図る。	○ICT推進委員会	令和3年度の児童生徒のアンケート結果からモニターやICTを活用した授業がわかりやすいとの回答を得ている。1人1台端末の有効な活用方法について昨年度得た知識やスキルを基に、研修や個々の教材研究、情報交換を重ね、授業力向上につなげていきたい。	【成果指標】 児童生徒の1人1台端末の活用に関して、校内研修や教員間の情報交換等を通して、自身の教材研究や授業づくりに活かし、主体的・対話的で深い学びの実現のための授業改善に取り組むことができた。 【成果指標】 授業のときに、自分のICT端末を使って、わからないことを調べたり、考えをまとめたり、友達と意見交換したりして、課題を解決することに粘り強く取り組むことができた。	研修や教材研究から得た知識やスキルを授業に活かすことができたと思う教員が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	CまたはDの場合は、改善策を検討する。	7月及び1月に調査 教員(小、中、高)
					学習場面でICT端末を使って課題解決に向けて取り組めた児童生徒が、 A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	CまたはDの場合は、改善策を検討する。	7月及び1月に調査 児童生徒(小、中、高)
2安心・安全な学校づくり	③SNSやオンラインゲーム等において保護者が捉えている課題とその解決に向けた工夫を学校と共有するとともに、安全にインターネット等を使用する手だてを情報共有し連携して取り組む。	○指導課	令和3年度の保護者のアンケート結果より、学校で取り組んでいることが十分伝わっていないことがある。一方、学校の保護者のニーズが把握できていない状況がある。また、本校の生徒たちにとっては安心安全な将来に向けて活用力を高めていく必要のある課題でもあり、家庭と連携し継続していくべき取り組みである。SNSやオンラインゲーム等に関して保護者が家庭で改善が必要と感じていることを学校が把握し、ともに解決に向けて検討し取り組んでいけるようにすることが大切だと考える。保護者のニーズを把握するためのアンケート調査や課題について共有する機会を設定したい。	【成果指標】 子どもの実態や課題を保護者と情報共有し、保護者のニーズを踏まえて個々の児童生徒に応じた指導ができた。	保護者のニーズを踏まえてSNS等の指導ができたと思う教員が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	CまたはDの場合は、改善策を検討する。	7月及び1月に調査 教職員(小、中、高) (担任、級外、寄宿舎)
				【成果指標】 SNSやオンラインゲームに関する課題が改善したと回答した項目が A 項目以上 B 項目以上 C 項目以上 D 項目未満	CまたはDの場合は、改善策を検討する。	7月及び1月に調査 児童生徒(小、中、高)	
				【成果指標】 学校とともに課題を共有し考えることを子どもの実態や課題を学校と情報共有し、家庭で安全にインターネット等を使用することができた。	保護者が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	CまたはDの場合は、改善策を検討する。	7月及び1月に調査 保護者(小、中、高)
3キャリア教育の推進	④本校キャリア教育全体計画と個別の教育支援計画の目標及びキャリアパスポートとの関連付けを行い、個々のキャリア発達を促す。	○進路指導課	昨年度、本校のキャリア教育全体計画が作成され、個別の教育支援計画の個別の目標との関連について保護者が理解できるよう努めた。今年度から小学部、中学部、高等部では、児童生徒がキャリア教育における自分の目標を確認し達成に向けて取り組んでいけるよう、キャリアパスポートを作成する。児童生徒のキャリア教育の目標の意識向上やその姿を保護者に伝えていきたい。幼稚部では、昨年度に引き続き、発達年齢に応じたキャリア発達を個に応じて促していきたい。	【満足度指標】 キャリアパスポートの活用や授業等においてキャリア教育の視点をもって指導する。	キャリアパスポートを活用や授業等で個別の目標とキャリア教育における目標を関連付けた指導をした担任が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	CまたはDの場合は、改善策を検討する。	7月及び1月に調査 担任
				【成果指標】 授業やキャリアパスポートの作成及び活用を通して、キャリア教育の視点で自分の目標を意識できた。	自分の目標をキャリアパスポートの作成を通して確認できた児童生徒が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	CまたはDの場合は、改善策を検討する。	7月及び1月に調査 児童生徒(小、中、高)
				【満足度指標】 懇談時等に担任から、キャリア教育の目標に対しての子の成長についての説明を受け、成長を確認できた。	個別の目標と関連したキャリア教育の目標に対しての子の成長についての説明を受け、成長を確認できた。 保護者が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	CまたはDの場合は、改善策を検討する。	7月及び1月に調査 保護者(幼)
4業務改善	⑤マニュアルを基に平準化や効率化を目指し業務を遂行する。	○校務会	本校には課の業務のマニュアルが十分整備されていないため、令和3年度に仮作成をした。異動がなく同じ業務を長年担当しているケースも見られる。マニュアルを活かしながら、組織改編や異動等で業務内容が変わっても、平準化し効率的に分掌業務が遂行できる体制づくりを進めたい。	【成果指標】 仮作成したスケジュールやマニュアルを基に業務の平準化と効率化を意識して業務を遂行できた。	スケジュールやマニュアルを基に業務の平準化と効率化を意識できたと思う教員が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	CまたはDの場合は、改善策を検討する。	7月及び1月に調査 教職員 (担任、級外、寄宿舎)